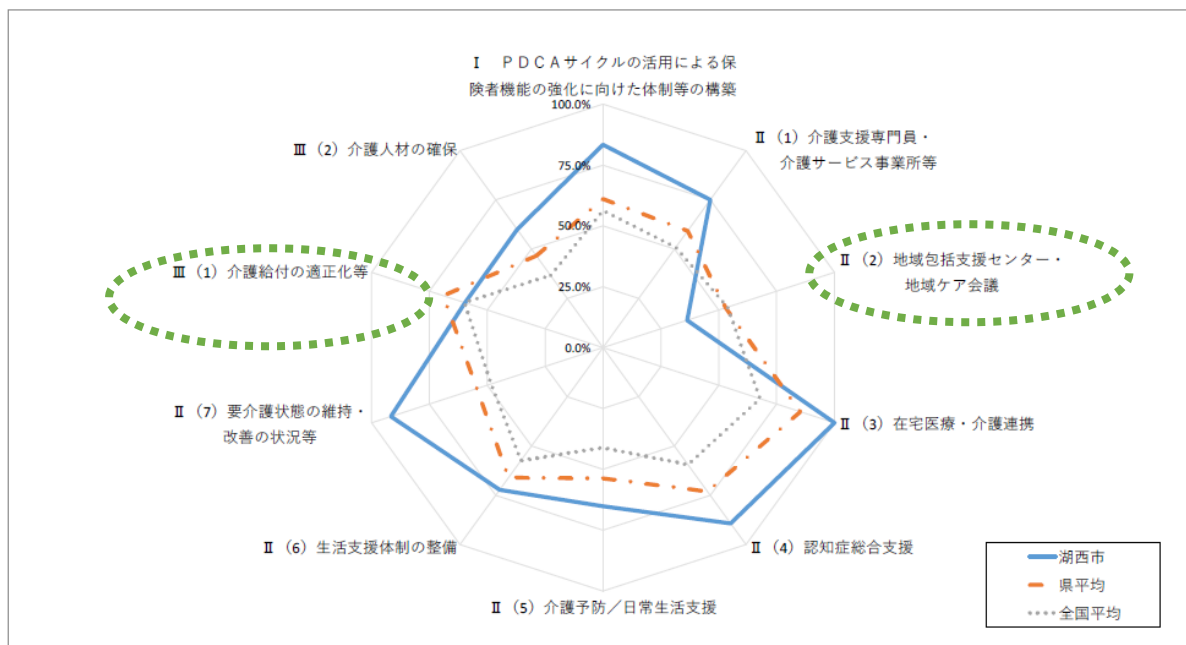


地域包括支援センター会議、ケア推進会議等で共有検討

○特徴：「地域包括支援センター地域ケア会議」開催項目と「介護給付適正化」に関する項目が弱い傾向

令和4年度インセンティブ交付金の評価指標と該当状況

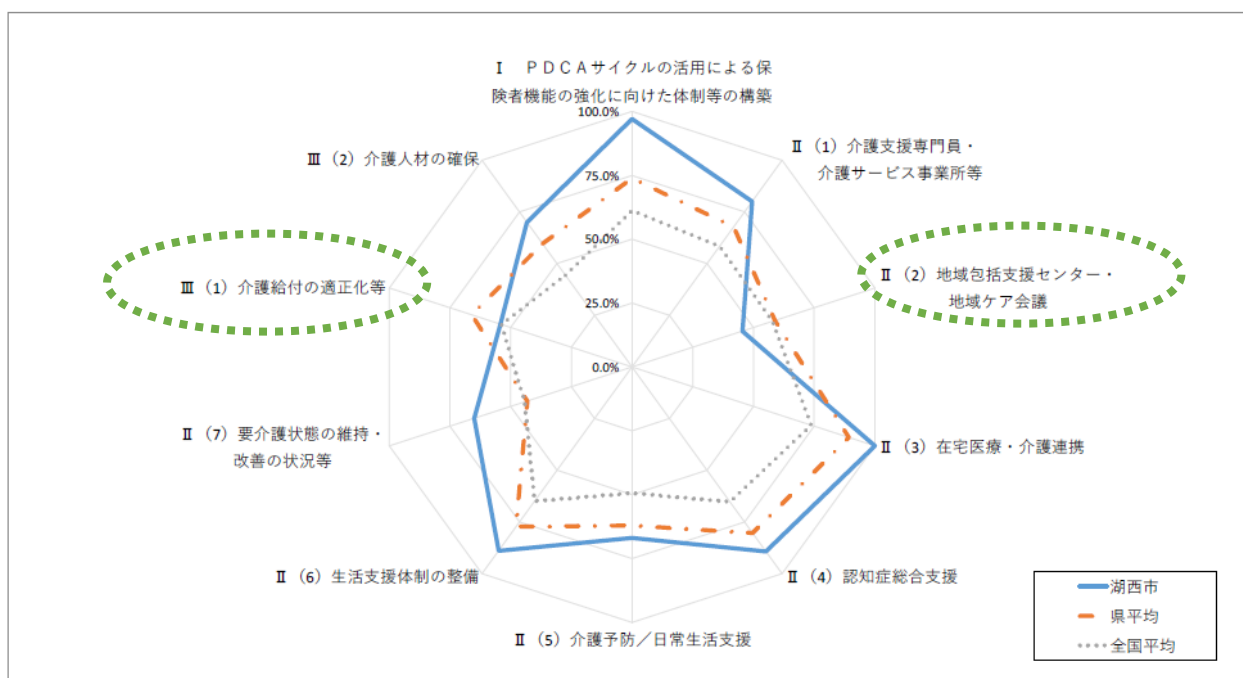
湖西市



市町	I	II(1)	II(2)	II(3)	II(4)	II(5)	II(6)	II(7)	III(1)	III(2)
湖西市	83.3%	75.0%	36.4%	100.0%	89.3%	65.2%	72.2%	91.7%	59.6%	60.0%
県平均	61.0%	59.3%	53.0%	85.2%	73.1%	53.7%	66.0%	54.5%	69.1%	46.6%
全国平均	56.3%	50.9%	53.8%	67.9%	59.5%	41.2%	57.4%	48.4%	59.8%	36.6%

令和5年度インセンティブ交付金の評価指標と該当状況

湖西市



市町	I	II(1)	II(2)	II(3)	II(4)	II(5)	II(6)	II(7)	III(1)	III(2)
湖西市	97.1%	80.0%	45.5%	100.0%	89.3%	67.0%	88.9%	65.0%	54.2%	70.0%
県平均	73.9%	67.7%	58.9%	89.3%	80.3%	62.1%	77.3%	43.1%	66.1%	59.7%
全国平均	61.2%	58.4%	57.8%	73.8%	65.2%	49.4%	64.9%	44.2%	53.9%	44.4%

第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

所属名	湖西市
担当者名	竹内、琴岡、岡本

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

保険者名	第8期介護保険事業計画に記載の内容				令和4年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第8期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
湖西市	①自立支援・介護予防・重度化防止	老人クラブ活動支援	自身の健康・介護予防活動と地域づくりの担い手としての活動を支援 ・仲間づくり ・健康づくり介護予防活動 ・支えあい活動 ・奉仕活動	クラブ数:36クラブ 会員数:2000人	クラブ数:34クラブ 会員数:1743人(目標との率87.1%) クラブ単位でのスポーツ活動と全体大会の実施 社会奉仕・花いっぱい活動 ・友愛訪問の実施(実績:30チームで147人訪問) ・花壇の整備、公共施設等の除草作業	◎	クラブ数が前年度より1つ減り、年度末の会員数は1658人(-85人)となった。会員減少の主な理由は死亡による退会であったが、新規会員の加入を増やすことが課題である。また、交通が不便で活動に参加できないといった声も聞かれたため、高齢者バス・タクシー助成サービス等の利用を促し支援していきたい。
湖西市	①自立支援・介護予防・重度化防止	地域介護予防活動支援 通いの場	身近なところにおける通いの場の実施による介護予防	いきいきサロン実施地区:42地区 いきいきサロン参加者総数:14500人 健康体操教室実施地区:38地区 健康体操教室高齢者参加者総数:7000人	いきいきサロン実施地区 :42地区 いきいきサロン参加者総数 :9364人 健康体操教室実施地区 :36地区 健康体操教室高齢者参加者総数:2785人 地域住民のボランティア等住民グループが実施し、支えあいによる予防活動を実施している。ボランティアの支援も実施した。	△	R4年度もコロナ禍であり、各地域での実施は中止また制限され回数参加ともに激減したが、開催回数は増加傾向を見せた。替わりに屋外実施や訪問活動等各地区での工夫はみられた。広報等での全体的ポピュレーションアプローチを継続した。 地域での支えあいと、身近な通いの場の確保は介護予防や共生社会の構築には不可欠である。今後も場の確保及びボランティア支援は力を入れ実施が必要である。 地域で途切れてきた実施を支援するとともに、一体的事業におけるポピュレーションアプローチを実施していく。 このほか、地域主体の通いの場は複数ある。社会福祉協議会が概要把握し周知しているが、回数や人数管理まではせず地域を支援している。
湖西市	①自立支援・介護予防・重度化防止	健康づくり活動への取り組み	自立生活の支援・重度化防止(介護予防)とともに健康づくり活動の取り組みの一つとして健康マイレージ事業を保健事業と一体的に実施	健康マイレージ事業応募総数:1600人 介護予防・健康づくり活用とともにボランティアポイント制度を盛り込み実施。自身でポイントをためることで、各種景品が抽選で当たる事業を展開している。	健康マイレージ事業応募総数:2147人 (うち高齢者74.4%) 達成率134.2% 事業内容は左記のとおり このほか2019年度から保健事業との一体化に向けた検討会を国保担当課・保健担当課・介護予防担当課の3課で実施し始めた。	◎	自己評価としては、134.2%で大幅に目標を上回った。参加者増加傾向は見られていた。65歳未満者の健康づくり、介護予防無関心層へのアプローチも継続できるとよい。 年齢で途切れることのない展開を視野に、保健事業と介護予防の一体化に向けた取り組みを検討する3課の取り組みを始めたため、事業化に向取り組み必要がある。
湖西市	②給付適正化	要介護認定の適正化	認定調査の結果についての保険者による点検	認定調査票の全件点検	全件点検(令和4年度調査件数実績 1,709件)	◎	認定調査票を点検することで調査員間の差異が補正され認定結果の平準化につながっているため今後も継続して点検業務を行っていく予定。専門職の確保が困難であり調査員も定着せず安定的運営が困難になってきていることも課題となっている。
湖西市	②給付適正化	介護給付費通知	介護サービス利用者自身による利用状況の確認及び事業者からの不適正な請求の防止を図るためサービス費用の内訳等を利用者へ通知	1年1回サービス費用の内訳を利用者に通知	令和4年12月サービス利用実績通知を 2,321名に発送	○	通知をすることでサービス内容の見直しができたとする意見もあるため今後も継続して通知をしていく。しかし多くは請求と間違えるケースが多かった。通知文内容についての見直しが必要。